

常任指揮者: ティエリー・フィッシャー

名フィル
Nagoya Philharmonic Orchestra since 1966

THIERRY FISCHER
Nagoya Philharmonic Orchestra
CHIEF CONDUCTOR



名古屋フィルハーモニー交響楽団

第375回 定期演奏会

2010.4-2011.3シーズン
〈「都市と音楽」シリーズ〉

ローマ

Nagoya Philharmonic Orchestra The 375th Subscription Concert
2010.4-2011.3 Season 'Rome' from "City and Music Series"

2010 **12.17** (金) **12.18** (土)
6:45pm 開演 4:00pm 開演
(6:00pm 開場) (3:15pm 開場)
Dec. 17 (Fri.) 6:45pm Dec. 18 (Sat.) 4:00pm

愛知県芸術劇場コンサートホール
Aichi Prefectural Art Theater Concert Hall

【指揮】尾高忠明
Conductor: Tadaaki OTAKA



吉松隆: 朱鷺によせる哀歌 作品12
T. Yoshimatsu: Threnody to Toki, Op.12

レスピーギ: 交響詩『ローマの噴水』
O. Respighi: The Fountains of Rome

ラフマニノフ: 交響曲第2番ホ短調 作品27
S. Rachmaninov: Symphony No.2 in E minor, Op.27

Rome

平成22年度文化芸術振興費補助金(芸術創造活動特別推進事業)

1回券料金(税込)

S席 ¥6,000 A席 ¥5,000 B席 ¥4,000
C席 ¥3,000 D席 ~~¥2,000~~ 完売
Y席 ¥1,000 (24歳以下対象、当日窓口販売のみ)

1回券発売日

2010年9月29日(水)

割引

いきいき割引 / S~D席を20%割引
65歳以上、障害者手帳をお持ちの方(介添人1名様まで可)対象
ユース割引 / S~D席を20%割引
24歳以下の方(学生・社会人を問いません)対象
※大学生協でも取扱
車椅子席 / A席を20%割引(¥4,000) ※要事前予約

チケットお申込み・お問合せ

名フィル・チケットガイド
Tel.052-339-5666

<http://www.nagoya-phil.or.jp/> 名フィル 検索

主催:財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団
後援:愛知県・愛知県教育委員会・名古屋市・名古屋市教育委員会・財団法人名古屋市文化振興事業団・朝日新聞社・メ〜テレ

≡ Biography ≡

指揮

尾高 忠明

Conductor
Tadaaki OTAKA

1947年生まれ。桐朋学園大学で齋藤秀雄氏に指揮法を師事。1970年桐朋学園大学を卒業、第2回民音指揮者コンクールで第2位に入賞。1971年にN響を指揮してデビュー。1972年オーストリア政府から奨学金を得てウィーン国立アカデミーに留学、ハンス・スワロフスキーに師事、さらにオペラをシュパンナーゲルに学んだ。

1974-91年東京フィル常任指揮者、1981-86年札幌正指揮者、1992-98年読売日響常任指揮者を務めた。1984、89年東京フィル、1993、97年には読売日響のヨーロッパ公演を成功に導いた。1987年にBBCウェールズ響（現BBCウェールズ・ナショナル管）首席指揮者に就任、翌年には同団を率いてBBCプロムスにデビューした。

1995年には紀尾井シフォニエッタ東京のミュージカル・アドバイザー／首席指揮者に就任、2000年にはヨーロッパ・ツアーを敢行、オランダ、オーストリア各地で絶賛された。また1998年には札幌ミュージック・アドバイザー／常任指揮者に就任、2001年10月英国ツアーを、音楽監督就任後の2005年9月には韓国公演を行ない絶賛を博した。

その他、国内主要オーケストラへの定期的な客演に加え、ロンドン響、ロンドン・フィル、BBC響、バーミンガム市響、ワルシャワ・フィル、オスロ・フィル、香港フィルなど世界各地のオーケストラへ客演している。

1991年度第23回サントリー音楽賞受賞。1993年ウェールズ音楽演劇大学より名誉会員の称号を、ウェールズ大学より名誉博士号を、1997年英国エリザベス女王より大英勲章CBEを授与された。さらに1999年には英国エルガー協会より、エルガー音楽の普及に貢献したとして、日本人初のエルガー・メダルを授与されている。

現在、札幌音楽監督（2004年5月～）、BBCウェールズ・ナショナル管桂冠指揮者（1996年1月～）、東京フィル桂冠指揮者（1991年4月～）、読売日響名誉客演指揮者（1998年4月～）、紀尾井シフォニエッタ東京桂冠名誉指揮者（2003年9月～）、N響正指揮者（2010年1月～）、メルボルン響首席客演指揮者（2010年1月～）を務めるほか、東京芸術大学指揮科主任教授、相愛大学音楽学部客員教授の任にもある。2008年9月からは新国立劇場オペラ部門芸術参与を、2009年9月からは同芸術監督代行を務めている。

<「都市と音楽」シリーズ>聴きどころ 第375回定期演奏会 「ローマ」

池田 卓夫（日本経済新聞社文化部編集委員）

前月の井上道義とは桐朋学園大学音楽学部の同期だが、人間も音楽も全く異なる尾高忠明が2009年10月以来2シーズン続けて名フィル定期を指揮する。「ローマ」をテーマに据えた回だが、イタリアの作品はレスピーギの交響詩『ローマの噴水』のみ。日本の吉松隆、ロシアのラフマニノフ（しかも「交響曲第2番」の初演地は前回のテーマ都市、サンクトペテルブルクである!）の選曲は一見、奇異に映る。だが、絶滅を危惧された日本の国鳥、トキの美しい翼に吉松が託したのが「調性（トナリティ）復活への頌歌」だとすると、「ローマ→イタリア→オペラ→カンタービレ（旋律美）」と、尾高の連想が膨らんでいったのではないかと。省略なしの演奏が50分を超えるラフマニノフの交響曲は旋律美の極みにある。中でも第3楽章では20世紀音楽が忘れかけた、美しく切ない旋律が果てしなく続く。内面に熱い思いを抱きつつ、じっくり音楽を掘り下げる尾高にふさわしい作品だ。

その他のチケット取扱

チケットぴあ（Pコード：115-960）……0570-02-9999
愛知芸術文化センター内プレイガイド……052-972-0430
ナディアパークプレイガイド……052-265-2015
市内主要プレイガイド、大学生協でも取扱

託児サービス 1名様¥1,000

未就学児童（満1歳以上）対象、要事前予約
お申込み：ポピンスサービス名古屋
Tel. 052-541-2100
（演奏会の3日前（土・日・祝をのぞく）まで受付）

※未就学児童のご入場は、保護者同伴の場合でもご遠慮ください。
※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更は受付いたしていません。
※やむを得ぬ事情によって、出演者・曲目などを変更する場合がございます。
あらかじめご了承ください。

本紙は、古紙パルプを含む再生紙を使用しています。



愛知県芸術劇場 コンサートホール

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2
愛知芸術文化センター4F

地下鉄東山線・名城線「栄」駅より徒歩2分
名鉄瀬戸線「栄町」駅より徒歩2分

<http://www.aac.pref.aichi.jp/>